

10月7日を「舞鶴引き揚げの日」に

### 史実と平和の願いを 次世代へ

引き揚げやシベリア抑留の史実と13年間にわたり温かく引揚者を迎え入れた舞鶴の歴史を次世代へ継承することを目的に、引き揚げ第1船が舞鶴港に入港した10月7日を「舞鶴引き揚げの日」とする条例が市議会9月定例会で可決し制定されました。

本条例は5月に、舞鶴ユネスコ協会や舞鶴商工会議所など市内20の団体から引揚港の歴史に思いをはせることにより、平和の尊さを再確認し、引き揚げのまち舞鶴から平和の願いを広く発信するきっかけにと提案をいただき実現したものです。



▲引揚船最終船「白山丸」が舞鶴港に入港（昭和33年撮影）



▲歓迎アーチ付近で引揚者を出迎える（昭和33年撮影）

#### ◆制定を受けて

舞鶴市は、国の引揚事業の受け入れ先として昭和20年に引揚港に指定され、昭和33年の最終船入港まで全国十数港の中で唯一、最後までその役割を果たした引揚港を象徴するまち。引揚者の受け入れには市や多くの市民も関わり、戦後の混乱期で物資も乏しい中、心身ともに傷ついた引揚者をまちぐるみで温かく迎え入れたことは誇るべき歴史です。

引き揚げやシベリア抑留の史実を語り継ぎ、平和への尊さを発信する拠点として引揚者や市民の想いを受け昭和63年に引揚記念館が開館し、所蔵資料のユネスコ世界記憶遺産登録や同館の施設整備、若い世代への史実を継承するための取り組みを市民の皆さんと一緒に進めてきました。

《引揚記念館》

今回の制定を受け、この史実の継承に向けた取り組みを適切にさせることなく、まちの歴史や平和の尊さを再認識し、未来を担う次世代へ継承し、引き揚げのまち舞鶴から世界へ未来へと平和の願いを発信していきます。

#### 「ユネスコ登録からつながる地域社会への活力を紹介」

### ユネスコ登録からつながる地域社会への活力を紹介

博物館の役割について専門家が事例などを発表する「ユネスコ舞鶴ミーティング2018」が9月30日、商工観光センターで開催されました。

同ミーティングは、来年9月に京都市で行われる「ユネスコ京都大会のプレ大会として行われたもので、国内外から約170人が参加。「国際課題とミュージアム」と「地域コミュニティとミュージアム」をテーマに博物館関係者11人が発表しました。

市からは、引揚記念館の長嶺学芸員が平成27年に決定した「ユネスコ世界記憶遺産登録」に向けて引揚体験者と市民とともに進めた取り組みや、シベリア抑留などの史実を若い世代へ継承するために取り組んでいる平和学習、引き揚げの史実を伝える語り部に地元の中学生が参加している事例などを発表しました。

また、発表者や一般参加者によるパネルディスカッションも行われ、来年開催される「ユネスコ京都



▲事例を発表する長嶺学芸員

大会に向けて積極的な意見交換が行われました。《引揚記念館》

### 11月26日から市内12か所で実証実験

### ペットボトルなどの回収ボックスを新たに設置

市では、資源化率の向上と不燃ごみの排出機会を確保するため、現在、不燃ごみの分別区分の見直しを進めているペットボトルとプラスチック容器包装類の拠点回収の実証実験を行います。

新たに公共施設など12か所に回収ボックスを実験的に設置。また、現在6か所に設置している小型家電の回収ボックスを12か所に増設します。

実験期間は、11月26日(月)から来年1月末日までを予定(2月以降は未定)。実験終了後、資源化率は未定。

の向上、収集運搬コストの削減、温室効果ガスの削減などの検証結果を踏まえ、今後の効果的な収集運搬体制について検討します。

なお、本実験では、回収ボックスにIoTセンサーを設置。リアルタイムにごみの堆積量を把握し、最適な回収頻度やルートを設定し、効率的な収集を目指します。

#### ◆回収ボックスの設置場所

- ◆市役所※
- ◆西支所※
- ◆加佐分室※
- ◆中央公民館※
- ◆東図書館※
- ◆西図書館※
- ◆南公民館
- ◆大浦会館
- ◆城南会館
- ◆ベルマートいこた旬工房
- ◆三ツ丸ストア余内店
- ◆業務スーパー下福井店

※は既に小型家電回収ボックスを設置している施設

▼詳しくは、生活環境課(☎66・10005)へ。

各拠点回収場所に3種類の回収ボックスを設置。袋に入れずにバラのままに入れてください。

①ペットボトル (PETマークが目印)

- ・キャップをとる
- ・中をすすいで水を切る
- ・ラベルをはがす
- ・キャップとラベルは②として出す

②プラスチック容器包装類 (トレーやシャンプー容器、お菓子の袋など、プラマークが目印)

- ・キャップをとる
- ・中をすすいで水を切る

③小型家電 (携帯電話・ノートパソコン、電気カミソリなど)

縦15センチ横30センチまででボックスの投入口に入るもの



▲PETマーク



▲プラマーク

- ◆業務スーパー下福井店
- ◆三ツ丸ストア余内店
- ◆ベルマートいこた旬工房
- ◆三ツ丸ストア余内店
- ◆業務スーパー下福井店
- ◆西図書館※
- ◆南公民館
- ◆大浦会館
- ◆城南会館
- ◆ベルマートいこた旬工房
- ◆三ツ丸ストア余内店
- ◆業務スーパー下福井店



▲小型家電回収ボックス ▲ペットボトル回収ボックスのイメージ (青色) ▲プラスチック容器包装類回収ボックスのイメージ (黄色)

### 「ごみの減量化と資源化を推進 廃棄物減量等推進審議会から答申

10月2日、一般廃棄物の減量化などについて審議する「舞鶴市廃棄物減量等推進審議会」(会長 山川肇・京都府立大大学院教授、12人)から循環型社会の形成に向けた新たな取り組みについての答申を受けました。

同審議会では、平成28年10月からの11回にわたる審議で、容器包装リサイクルに関する取り組み、リデュース、リユースの推進、ライフスタイルの変化や高齢化などへの対応などの具体

的の方策について審議し、平成29年8月の中間答申を経て、今回の答申をまとめました。

市では答申を受けて、市民・事業者・市が一体となり、さらなるごみの減量化や資源化などを推進していくために、具体的な取り組みを積極的に進めていきます。

#### 《閲覧できます》

答申の詳しい内容は、生活環境課、市政情報コーナー、西支所、加佐分室で閲覧できます。市ホームページにも掲載。

▼詳しくは、生活環境課(☎66・10005)へ。

### まいづる海自カレー 海上自衛隊見学ツアーを実施

平成29年度の「まいづる海自カレー」スタンプラリー参加店11店舗のカレーを完全制覇した人を対象にした「海上自衛隊舞鶴地方隊見学ツアー」が9月22日、海上自衛隊舞鶴地方総監部と自衛隊隊橋で行われました(主催は「金曜日はカレーの日」プロジェクト)。



この日は、全店制覇した156人から抽選で選ばれた36人が参加。海軍記念館や護衛艦「みょうこう」を現役自衛官からの解説を聞きながら見学しました。今年度のスタンプラリーは来年3月31日まで実施。次回の見学ツアーも抽選で実施予定です。

《観光商業課》

### まいづる応援団特命大使の三遊亭小金馬さんが逝去

まいづる応援団特命大使で落語家の三遊亭小金馬さんが10月1日に逝去されました。2013年に同大使に就任いただいたから舞鶴市出身者の会に参加いただくなど舞鶴のためにご尽力いただきました。謹んでご冥福をお祈りします。《企画政策課》

◆まいづる応援団特命大使…学術、文化・芸術などの分野で活躍されている本市出身の方でタレントのギャル曽根さんとさくらインターネット(株)代表取締役社長の田中裕さんに就任いただいています。

### 舞鶴若狭自動車道 舞鶴西IC～綾部PA間の4車線化工事が完成

舞鶴若狭自動車道の舞鶴西IC～綾部PAまで(4.7キロ)の4車線化工事が完成。11月3日(祝)6時から開通します。同自動車道が4車線になることよって安全で快適な走行の確保、災害復旧の効率化、地域経済や観光の活性化などの効果が期待されます。

引き続き、綾部IC～福知山IC間の4車線化工事は平成32年度末の完成を目指して進められます。《国・府事業推進課》